

1. 科目名(単位数)	医療経営論 (2単位)	3. 科目番号	SBMP2130
2. 授業担当教員	中野 隆之		
4. 授業形態	講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション(学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等)を伴ったものにする。	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「経営管理論」「経営組織論」など経営系の科目および「社会福祉入門」、「社会保障論」、「社会政策論」などと関連の深い科目である。		
7. 講義概要	医療機関の運営に関する問題について、経営学の観点から学習を進める。医療機関は、その公共性から、利潤を追求することが第一義的な目的ではないため、経営状態が悪化することもあることが指摘されている。このため、医療機関の経営について、どのように公共性と利潤追求とのバランスをとりながら行っていくべきかについて学習することが重要である。昨今では、高齢化などから医療・福祉機関が増加していることも考えれば、その重要性は増している。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療機関の存立を支える立場としての経営学や経済学的重要性を認識する。</li> <li>2. 現代の医療機関の運営に必要な公共性と利潤追求とのバランス感覚を養う。</li> <li>3. 一般の企業、公共機関と医療機関の運営の相違点と類似点を把握する。</li> <li>4. 現在、医療機関の運営を持続的に行っていく上で、問題となる点を認識する。</li> <li>5. 高齢化などの社会の変化の中で、医療・福祉機関がどのように行われるべきかの考えを持てるようにする</li> </ol>		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	アサインメントは特に課さない。15回の講義の中では各講義内容と関連した演習問題を出題する。また、第12回の講義の際にレポートを課す。 レポート課題：別途、授業のなかで指示する。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】毎回、授業に先だって配布する資料を使う。教科書は指定しない。</p> <p>【参考書】今村知明・康永秀生・井出博生共著『医療経営学(第2版)-病院倒産時代を生き抜く知恵と戦略』医学書院。 木村憲洋・的場匡亮・川上智子編著『1からの病院経営』碩学舎。 野中郁次郎著『経営管理』日経文庫、日本経済新聞社。 榎原清則著『経営学入門 上下』日経文庫、日本経済新聞社。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療経営に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。</li> <li>2. 経営学的な思考が身についたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への積極的参加度(グループ・ディスカッション、発表・報告等) 総合点の40%</li> <li>2. 試験(小テスト、口頭発表による試験等) 総合点の30%</li> <li>3. 課題(レポート等) 総合点の30%</li> </ol> <p>なお、単位認定には学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たすことが必要である。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業態度について 授業中にスマホ、私語、居眠りの多い者は教壇最前列に座らせ、担当教員による厳重な監督下におく。</li> <li>2. 第12回目(または第13回目)の講義の際にレポート課題を出題するが、提出期限はその際に知らせる。また提出されたレポートは後日発表してもらう。</li> <li>3. 将来、医療・福祉や様々なサービス業務でチームリーダーや管理職に携わる際に役立つ有効なセンスを磨く、という意気込みで講義や演習に臨んでほしい。</li> <li>4. 授業中、積極的に自分の考えを持ち発言すること。講義・演習を単に学課を学ぶ場としてではなく、自分の考えをまとめ、発言する、文書化する、といった今後の学生生活や社会生活に必要なトレーニングの場と考えること。</li> <li>5. 理解が不十分な点については放置せず授業中やオフィスアワーを利用して積極的に質問すること。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	第1回目の授業の際にお知らせいたします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション 日本医療の現状と課題① -我が国の医療費を巡って-	事前学習	日頃、病院経営で見聞することをまとめる。
		事後学習	医療システムが直面する課題を整理する。
第2回	日本医療の現状と課題② -医療提供体制-	事前学習	前回の講義内容を確認する。
		事後学習	医療システムが直面する課題を整理、まとめる。
第3回	医療と経営学	事前学習	自分が病院経営にあたった場合何を考えるか、まとめる。
		事後学習	経営学が医療問題の解決にどう役立つか考える。

第 4 回	病院の組織	事前学習	経営学や組織論で学んだ組織の要素、形態を整理する。
		事後学習	医療サービスに相応しい組織は何かまとめる。
第 5 回	病院の医事管理 演習	事前学習	医療経営者、リーダーがなすべき業務管理は何か考える。 これまで本講義で学んだ事項を確認する。
		事後学習	これまで本講義で学んだ医療経営に関する知識を整理する。
第 6 回	病院の人的資源管理① -病院スタッフの動機づけ、 雇用の現状と課題-	事前学習	経営学など他授業で学んだ人的資源管理の知識を整理する。
		事後学習	医療経営における人的資源管理の意義を整理する。
第 7 回	病院の人的資源管理② -人事考課、賃金制度、キャリア開発-	事前学習	病院における人的資源の確保・定着に必要なことを考える。
		事後学習	医療経営における人的資源管理の意義を整理する。
第 8 回	病院の人的資源管理③ -職場環境の改善と意義 (メンタルヘルスとワークライフバランス)-	事前学習	病院における人的資源の確保・定着に必要なことを考える。
		事後学習	医療経営における人的資源管理の意義を整理する。
第 9 回	演習	事前学習	これまで病院の人的資源管理で学んだ知識を整理する。
		事後学習	医療経営における人的資源管理の知識、意義をまとめる。
第 10 回	病院の財務・会計と経営分析	事前学習	これまで学んだ財務・管理会計に関する知識をまとめる。
		事後学習	病院経営における経営分析の意義を整理する。
第 11 回	医療保険制度と DPC	事前学習	自分にとって身近な医療保険を考える。
		事後学習	医療保険制度や DPC が病院運営に与える影響は何かまとめる。
第 12 回	医療の評価 レポート課題の出題	事前学習	患者としてどういう病院を選択するかを考える。
		事後学習	医療の評価の特徴についてまとめる。
第 13 回	医療の情報化と ICT システム	事前学習	身近に利用した病院の情報システムとしてどのようなものがあったか思い出す。
		事後学習	医療の情報化のメリット・デメリットは何かまとめる。
第 14 回	医療安全管理そのほか	事前学習	医療事故とはどのようなものが調べる。 第 12 回講義で出題されたレポートの提出準備
		事後学習	医療安全管理の重要性など整理する。
第 15 回	最後のまとめ 演習 (レポート課題発表と討議)	事前学習	ここまで未消化であった事項を整理する。 第 12 回講義で出題されたレポートの発表準備
		事後学習	医療経営に関し自分なりの知見がもてたか振り返る。